

学校だより

1月号

<http://www.edz.city.yamato.kanagawa.jp/s-chu/>

みずえのとら

「壬寅」の今年は実力を養う一年に

校長 吉田 美佳

新年明けましておめでとうございます。昨年中は保護者、地域の皆さま方に大変お世話になり、ありがとうございました。今年も子どもたちが笑顔で安心して学校生活が送れるよう、教職員一同、力を合わせて支援してまいります。

2022年の元旦は晴天に恵まれ、我が家の窓からも澄んだ空気を感じながら雲一つない空に現れた初日の出を拝むことができ、希望あふれる輝かしい一年の始まりという印象を受けました。また、6日に、太平洋側では雪が降り、東京23区で4年ぶりの大雪警報が発表され、積雪10センチを観測しました。今回のように路面が凍結するときは事故が起きやすく、翌日も積雪が長く残り、雪の影響が長引きます。3学期が始まり、これからは積雪の状況や大雪警報にも注意が必要です。しかし、子どもたちは久しぶりの雪に大はしゃぎだったのではないかと想像すると、ほほえましくなりました。

さて、新しい年は「寅年」。トラは、毛皮の模様から前身が夜空に輝く星と考えられていた存在で、『決断力と才知』の象徴としての意味もあり、縁起物としても親しまれています。寅年の中でも今年は60年に一度来る「壬寅（みずのえとら）」です。その意味は、辛く厳しい冬はいずれ終わり、暖かい春が来る。冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる、とのこと。つまり今年は、大きく花開くために、地道な自分磨きを行い、本質的な実力を養いながら、何事にも好奇心を持ってポジティブに進めば、華々しい成果が期待でき、希望にあふれる年になる、といったことを示しているそうです。



昨年もコロナ禍は収束せず、学校生活も様々な制限が続いていました。子どもたちはマスク生活や給食の個食など随分我慢してきたことと思います。しかし、新しい生活様式にも慣れ、教職員も児童もご家庭でも基本的な感染対策を怠らず地道に努力や工夫をし、運動会や遠足・修学旅行、40周年記念航空写真撮影などいくつかの行事が実施できました。3月末には新校舎が完成します。新校舎の外壁は、現校舎の白い壁とグリーン



のひさしをアクセントにしたデザインに合わせており、内装は明るく、トイレはパステルカラーで可愛らしく仕上がっています。令和4年度の新学期から使用できるようになり、工事エリアを分けるフェンスも外されるので、登下校ルートは迂回せず元のルートに戻る予定です。ただ、新校舎が完成した後の春から、今度は校庭補修工事が始まるため、今年の初冬までは狭い校庭で我慢しなければならないとのこと。したがって、次年度運動会は中央林間小学校の校庭での実施は難しく、今実施について検討中です。

あの徳川家康の干支も壬寅だそうです。家康公のように今年も皆様健康で活力ある1年を過ごされますように。本年も引き続きよろしく願いいたします。